

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日・令和5年10月15日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 介護支援専門員・管理者・介護職員・計10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	2人	人	人	10人

前回の改善計画	利用者や家族から知り得た情報は、些細な事でも連携メモやタブレットに入力することで情報の記載漏れが無いようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	初期支援時には、毎回ケアマネと管理者は利用者及び家族や関係事業所と本人情報を共有している。各職員については利用開始までには各自書面を確認し情報共有に努めている。利用者様に変化が有れば、連携メモやタブレットに書き込み情報共有を行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	7	3			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	8	2			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	8	2			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	8	2			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規サービス開始前には、関係者と集まりサービス担当者会議を行った。参加できなかった職員にもミーティングで報告したり、回覧を行い情報を共有した。利用者宅への訪問時や送迎時に得た情報は、他の職員と共有し必要としている支援やプラン変更にも速やかに対応する事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用開始前のミーティングに全員参加できない事が有り共有不足となる事が有る。毎朝、利用開始前に集まりミーティングを行っているが、業務の都合により全職員が参加できない事もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新規利用開始前には、利用者や家族の状況を確認しながら可能な限り顔を合わせて関係を作り、此れまでよりも情報収集できる機会を増やし、利用者にとって必要な支援の提供に繋がられるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日・令和5年10月15日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 介護支援専門員・管理者・介護職員・計10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	9人	1人	人	人	10人

前回の改善計画
日々の関わりの中で、気付いた事は記録や引継ぎミーティング等で情報共有し統一したケアを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
毎日の関わりの中で知り得た情報や希望などを職員間で共有し毎月のモニタリング評価に反映できた。 利用者とのコミュニケーションを図り、「～したいこと」を聞きながら支援に繋げる事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	10				10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	8	2			10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	6	3	1		10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	7	2	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	計画書に目を通し、利用者及び家族の要望、課題を理解している。 毎月のモニタリングや報告書で利用者の状態を報告している。定期的なカンファレンスで問題点や解決策等を職員や家族と一緒に考える事が出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	高齢になればなるほど、何処まで介助するべきなのか自立を支援することが難しい事が有る。 また、意思表示が難しい方への支援が、家族や職員本意になってしまっていないかと思う事が有る。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者に寄り添いケアする中で「～したい」の目標の変化に気が付いたときは、ケアマネに提案しプランの作成に参画し全職員が統一した関りが出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日・令和5年10月15日

3. 日常生活の支援

メンバー 介護支援専門員・管理者・介護職員・計10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	9人	1人	人	人	10人

前回の改善計画	言動や行動に気を付けながら見守りを行う。日々の変化については職員間で情報共有を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	上手く言葉で表現できない方でも、表情や仕草を見て支援しています。利用者が不安に思っておられることを傾聴し不安の解決に繋がられるように努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	6	4			10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8	2			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	8	2			10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	8	2			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	8	1			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
サービス担当者会議の情報は閲覧し職員全員で共有できるようにしている。「以前の暮らし方」や「生活歴」については、本人や家族から情報を聞き取り「暮らしのシート」を作成し一人一人の情報を共有することができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
些細な気付きが記録に残っていない事が有り変化に気づかない時がある。全職員が「暮らしのシート」の閲覧が出来ていない事が有り「以前の暮らし方」を把握できていない職員がいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
言動や行動に気を付けながら見守りを行う。日々の変化についてはタブレットへの記録入力や、職員間で情報共有を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日・令和5年10月15日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 介護支援専門員・管理者・介護職員・計10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	10人	人	人	人	10人

前回の改善計画	利用者、家族と積極的に関わり情報交換行い、地域とどのような関わりを持ちたいのか理解できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者からの傾聴や、家族からの情報を基にこれまでの生活スタイルなどを把握したうえで、これまでの地域の方との関係性を保てるよう支援した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	9		1		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	9	1			10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	8	2			10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	6	4			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域や暮らしに必要な、介護タクシーや訪問理美容、クリーニング業者も活用し地域での暮らしの支援が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新しい利用者に関しては、話を傾聴する中で情報を得ていくところも有るので、日が浅いと情報をしっかり捉えられていない。信頼関係が出来上がっていないと沢山の情報を引き出すのが難しい場合も有る。 後見人を利用している方が居るが、職員が把握できていない者もいた事から説明を行い理解できた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者、家族と積極的に関わり情報交換行い、地域とどのような関わりを持ちたいのか理解できるよう努める。 日常的な支援以外にも自然災害時の支援も念頭に、全利用者の緊急時の連絡先や避難所の把握をし利用者や家族と共有しておくようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年9月30日・令和5年10月15日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	介護支援専門員・管理者・介護職員・計10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	2人	人	1人	10人

前回の改善計画	どんな些細な内容でも記録に残し漏れが無いようにする。利用者の「変化」は記録者だけが理解するのではなく全職員で共有するためミーティングに参加できる体制づくりをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	その日の体調に合わせて、静養できる環境を設ける事が出来た。 利用者の急変や体調不良時は医療従事者との連携や支援が出来た。利用者との日々の関わりの中で、利用者家族の急変にも速やかに対応し、かかりつけ医との連携で緊急時の対応ができた事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	8	1	1		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	1			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	4			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	2			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所でのコロナ感染者拡大により事業所が閉鎖となり、通い利用及び宿泊利用を中止とした。通い・宿泊利用中止の期間は、希望者には利用者宅に訪問し、訪問サービスに切り替え対応する事が出来た。必要とする地域資源を活用したり、シルバー人材センターより人材派遣も依頼し利用者の支援の協力を得る事が出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
その日・その時のニーズに合わせて宿泊や通いの追加、送迎時間の変更は柔軟に対応している。利用者の気づきや変化について記載漏れがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
記録や情報共有を行う中で、業務の都合や勤務の事情によってミーティングや会議に参加できない者もいるが情報が途切れないよう連携を図る。ミーティングや会議に参加できなかった職員に対しても出来るだけ多くの職員が参加できる場を作っていくようにする。 利用者の変化の気づきや、情報共有に繋げるためにも支援の証しとなる記録の残し方に心がける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日・令和5年10月15日

6. 連携・協働

メンバー 介護支援専門員・管理者・介護職員・計10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	人	人	人	10人

前回の改善計画	コロナ禍で地域との繋がりが途絶えないように、事業所の宣伝や介護の情報提供が地域に発信できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍ではあったが可能な限り、毎年同様のイベントを行い利用者と職員で一緒に楽しむ事が出来た。 事業所から地域に向けたチラシの配布や、情報提供を行いながら関係が途切れず繋がる工夫をした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	9	1			10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	8	2			10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	5	5			10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	7	2		1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>コロナ禍の中で、「さくらカフェ」を中止していたが今年度は再開することが出来た。まだまだ参加者は少ないが「さくらカフェ」の再開を待って下さっている地域の方がおられた事が嬉しかった。事業所内の消防訓練は定期的実施し、昼間の時間帯や夜間を想定した訓練等も行った。今年度は災害時の事業継続計画書の作成や、感染症、虐待研修も事業所だけではなく法人全体として取り組むことが出来た。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>まだまだコロナ禍の影響もあり、地域の行事も全て中止となった。また事業所についても事業所内の行事は継続的に実施したが、地域の方や家族の方を迎えての合同イベントは出来なかった。 「登録者以外の地域住民が事業所に訪れるか」について、事業所の窓口責任者が対応している事が多く、他の職員は「登録者以外の訪問者はない」と理解している者がいたが説明し納得できた。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域交流については、コロナ感染予防対策によっては大きく左右されると思うが、地域との繋がりが途絶えないように可能な限り事業所の情報提供や地域に必要な情報発信を行うようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日・令和5年10月15日

7. 運営

メンバー 介護支援専門員・管理者・介護職員・計10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	2人	人	人	10人

前回の改善計画	地域の状況を見守り行事に参加する機会を増やし、小規模多機能の役割としての地域との積極的な交流が図れるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎年、ご利用者のご家族様にアンケートを行い其々の思いや意見を記入して頂いている。その内容を職員全員が把握し今後の介護や支援に繋げられるよう話し合いの場を持った。 家族からの要望や意見が上がった時には、速やかに対処し、職員間で情報共有し支援の改善に向けて働き掛けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	6	4			10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	10				10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	9	1			10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	7	3			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
今年度の運営推進会議は、新型コロナウイルス感染対策により書面ではあったが定期的には実施することができた。 毎年同様に、利用者や家族に対してアンケートを行い、其々の思いを記入して頂き確認した。その内容や結果を取り纏め利用者・家族にもフィードバックした。アンケートの内容や結果は、事業所内で回覧し全職員と共有した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
毎年実施している文化祭や避難訓練については、コロナ禍により地域の方と共同で取り組みは出来なかった。しかし、事業所職員と利用者と力を出し合いながら避難訓練は例年通りに行った。 コロナ禍で、地域へ出向いて行く「出張カフェ」は中断しており、地域と共同した取り組みや関係が薄くなっていないか不安である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナ感染状況にもよるが、次年度の運営推進会議等は書面ではなく対面での会議が開催できるようにする。 コロナ以前に行っていた家族会の再開や、アンケートでの聞き取りも含めて、支援の質、利用者の満足度を大切にしながらも安定的な運営を目指せるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日・令和5年10月15日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 介護支援専門員・管理者・介護職員・計10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	9人	1人	人	人	10人

前回の改善計画

内部研修の内容を充実し、これまで以上に一人一人の職員が成長できる研修にする。外国人技能実習生への指導に職員の協力と努力を求める。

前回の改善計画に対する取組み結果

内部研修の定期的な年間企画（年間スケジュールにて）により、職員一人一人が真剣に取り組むことが出来た。
外国人技能実習生の技術習得にも職員一丸となり取り組むことが出来た。技能実習生も技術の習得や日本語試験にも合格し成長する事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	9	1			10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	2			10
③	地域連絡会に参加していますか	7	2	1		10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	3			10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

可能な限り外部研修にも参加できた。個人の質の向上やスキルアップのため、一人一人が講師となり内部研修の担当者になり講義することができた。
外国人技能実習生受け入れもでき、全職員で協力しながら技能実習生の技術指導は勿論では有るが自身の技術向上に努める事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

内部研修も予定通り実施できたが、短時間の内容とした事や、参加できなかった職員もいたため参加率は低かった。
ヒヤリハット報告を基に安全対策も取っているが、再び同じ内容のヒヤリハット報告が出てしまった。
技能実習生が入職して1年目という事も有り、実習生の指導は特定の指導者が中心となって指導してきた。次年度は他の職員も指導者となり互いの介護技術の向上や質の向上に努めていく必要が有る。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

毎月の内部研修への参加の呼びかけを行い多くの職員が参加できる場を作っていく。外部研修参加者は内部研修での伝達研修を行い職員のスキルアップと質の向上に努める。
業務内容の分担を見直し、個別的なスキルアップ体制に努め遣り甲斐の有る職場作りを目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月30日・令和5年10月15日

9. 人権・プライバシー

メンバー 介護支援専門員・管理者・介護職員・計10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	9人	1人	人	人	10人

前回の改善計画	利用者一人一人の思いを大切に、利用者への配慮に意識して行動する。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束や虐待研修に関する外部研修に参加することができた。 利用者のプライバシー保護が守られるよう専門職として倫理遵守に心得て日々のケアに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10				10
②	虐待は行われていない	10				10
③	プライバシーが守られている	9	1			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10				10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10				10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 人権、プライバシーにかかわる事は、定期的な研修で繰り返し勉強している。身体拘束や虐待は行われていない。していない。個人情報に関わるものは取り扱いに十分注意をするよう心がけている。トイレ介助などの際は、利用者に声を掛け許可を得てから介助を行っている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること プライバシーの保護と個別ケアに努めているが、難聴の利用者に対して、職員の話し声大きいと他利用者に情報が聞こえていることがある。丁寧な言葉使いに心がけていく必要がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 転倒リスクの高い利用者に対しては、安全対策を整えながら利用者の人権やプライバシーに配慮したケアを提供していく。
---------------	---

令和5年 外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・利用者に寄り添った生活支援をするために、職員が一丸となって取り組み、評価・改善に繋がっています。そのためのガバナンスがしっかりしていると感じます。
- ・今回も利用者・家族「アンケート調査」が実施され、客観的な視点を大事にされています。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・情報共有の工夫と努力が伺えます。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

各テーマ毎に「出来ている点」を具体的に評価した上で、「できていない点」を分析して「改善計画」を見出して具現化されている。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

9つのテーマは「よくできている」「なんとかできている」と自己評価しており、職員が努力していることが伺える。更に改善策に取り組んで利用者支援に取り組むことを期待します。

【改善計画】※後日記入

職員のアイデアを出し合って、楽しい行事にする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・コロナ対策で事業所内に入れませんが、玄関に施錠はなくチャイムで職員が即対応をされています。
- ・不快な臭いや音はなく、玄関周りに花があるなど環境は整っている。

【前回の改善計画】

事業所の玄関前の案内表示の変更や、玄関周りの外観を整え来所された時に不愉快な思いを与えないように明るい環境づくりに努める。清潔感のある事業所を目指す。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

周りを見渡しても嫌な気分にはならない。

【今回の改善計画】※後日記入

事業所内・外の環境整備を継続し来所された地域の方や、家族の方・利用者の方に季節を感じて頂けるように明るい環境づくりに努める。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	6		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- どの職員も対応には好感が持てます。
地域の中で、事業所は頼れる存在であることが周知されていると感じます。
- 4は、コロナ禍で社会全体が自粛状況にあり実施困難と思われそうですが、可能な範囲で地域資源と繋がり支援を実施されています。

【前回の改善計画】

天気の良い日は地域に出かけて行き季節を感じる。
地域住民の方と出会う事で一緒に地域の中で生活している事を感じて頂けるようにする。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- 今後の状況をみて、事業所自身が更に地域と積極的に関わっていくことを期待します。
- 事業所の職員さんが利用者さんと一緒に、近所を散歩している姿を何度も見かけています。利用者職員との関係性も良いと伺えますし、地域で見かけても挨拶もされますし話しかけもして下さっています。

【改善計画】※後日記入

天気の良い日は地域に出かけて行き季節を感じる。
地域の方と一緒にイベントを行う

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5		1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・コロナ対策をとりながら施設内でのイベントは工夫されています。
- ・事業所の庭での運動会など外の空気に触れる機会づくりをされています。
- ・良いお天気の時や、季節を感じたい時は近所のお宮さんにお参りに出かける事も有ります。地域に出かけて空き缶拾いに参加し、地域住民が住みやすい環境づくりに心掛けている。

【前回の改善計画】

コロナ感染対策を行いながら、地域のイベントや行事に参加していく。
ゴミ拾いなど地域に出向き地域住民の方と関わりを持つ。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・誰でも外に出たいのは“当たり前”の観点から、感染予防策をとりながら安全な場所への外出計画（ニーズによってドライブなど）実施を期待します。
- ・桜の季節や、紅葉の季節には必ずドライブをして季節を感じられるように心がけて支援しています。
- ・「さくら新聞」を拝見して、イベントの様子や外出の様子を見る事が出来ています。利用者さんの楽しそうな笑顔を見る事が出来て嬉しい気持ちになります。

【改善計画】※後日記入

民生委員や区長さんを通して地域で心配な方と関わりを持つ。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

コロナ感染は依然として続き、更にインフルエンザの流行下で、対策として書面による詳細な報告を受けている。(利用者の状況、ヒヤリ・ハット、アクシデント、コロナ対策等等)

後日、委員の意見と施設のコメントのまとめの報告を受けている。
(2・3)は、運営推進メンバーとして、今後の課題だと思えます。

【前回の改善計画】

定期的な運営推進会議については、書面決議を行うか直接顔を合わせた会議にするかはコロナ感染状況を踏まえて実施する。
地域の心配な方が居るときは関係者と情報を共有し問題解決に努めるようにする。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

地域の高齢者で徘徊のある方については、区の協力体制等も含めて事業所も協働して取り組むことが出来る。
さくらカフェが再開しているが、協力できる地域の方にも声を掛け一緒に参加できる取り組みを行う必要が有る。

【改善計画】※後日記入

地域の心配な方が居るときは関係者と情報を共有し問題解決に努めるようにする。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5		1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	5		1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	2	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・防災計画は確認させて頂いていますが、何時起きるか解らない災害（火災・風水害・地震）に対し自助・共助を含めて確実に動ける体制づくりが必要だと思えます。

・高島市がモデル事業で取り組んでいる「誰一人取り残さない・取り残されない防災」に向け地域密着型事業所として取り組みが進むことを委員の一人として一緒に考えていきたいと思えます。

【前回の改善計画】

事業所の防災や災害対策については、地域住民と一緒に合同訓練が出来るように働きかける。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

「基準省令で指定通所介護事業者は訓練の実施にあたって、地域住民の参加が得られるよう連携に努めなければならない」と努力義務が提唱されています。

運営推進会議のメンバーに、家族代表・地域住民代表・行政等からなることから、今後、努力して取り組むことが必要だと感じています。

【改善計画】※後日記入

災害を想定して、地域の防災担当者・住民と事業所が共同で取り組むことが出来るように訓練の提案を行う。

(令和5年)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人かおり会	代表者	本多朋仁
事業所名	メデイケアさくら	施設長	澤田悦子

法人・事業所の特徴	医療法人会の運営により、サービス付き高齢者向け住宅と併設された建物で多機能な対応が出来ます。また事業所の自ら持っている機能と地域にある機能を合わせ、ご本人の暮らしを支援出来るように心掛けています。地域の方への発信と仲間作りを目的に事業所で「さくらカフェ」を開催したり地域交流の機会を作っています。
-----------	--

出席者	市町村職員	0人	知見を有するもの	1人	地域住民・地域団体	1人	利用者	0人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	0人	事業所職員	2人	その他	人	合計	6人
	市町村職員	0人	知見を有するもの	1人	地域住民・地域団体	1人	利用者	0人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	0人	事業所職員	2人	その他	人	合計	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	毎月の勉強会や研修会の開催を続ける事で、職員の質の向上や知識を高めることが出来るようになる。	・利用者に寄り添った生活支援をするために、職員が一丸となって取り組み、評価・改善に繋がっています。そのためのガバナンスがしっかりしていると感じます。 ・今回も利用者・家族「アンケート調査」が実施され、客観的な視点を大事にされています。 ・情報共有の工夫と努力が伺えます。	其々のテーマ毎に「出来ている点」を具体的に評価した上で、「できていない点」を分析して「改善計画」を見出して具現化されている。事業所評価の9つのテーマは「よくできている」「なんとかできている」と自己評価しており、職員が努力していることが伺える。更に改善策に取り組んで利用者支援に取り組むことを期待します。	職員のアイディアを出し合って、楽しい行事にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の玄関前の案内表示の変更や、玄関周りの外観を整え来所された時に不愉快な思いを与えないように明るい環境づくりに努める。清潔感のある事業所を目指す。	・コロナ対策で事業所内に入れません。玄関に施錠はなくチャイムで職員が即対応をされています。 ・不快な臭いや音はなく、玄関周りに花があるなど環境は整っている。	周りを見渡しても嫌な気分にはならない。	事業所内・外の環境整備を継続し来所された地域の方や、家族の方・利用者の方に季節を感じて頂けるように明るい環境づくりに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	天気の良い日は地域に出かけて行き季節を感じる。 地域住民の方と出会う事で一緒に地域の中で生活している事を感じて頂けるようにする。	・どの職員も応対には好感が持てます。 地域の中で、事業所は頼られる存在であることが周知されています。 ・(N04)は、コロナ禍で社会全体が自粛状況にあり実施困難と思われませんが、可能な範囲で地域資源と繋がり支援を実施されています。	・今後の状況をみて、事業所自身更に地域と積極的に関わっていくことを期待します。 ・事業所の職員さんが利用者さんと一緒に、近所を散歩している姿を何度も見かけています。利用者と職員の関係性も良いと伺えますし、地域で見かけても挨拶もされますし話しかけもして下さっています。	天気の良い日は地域に出かけて行き季節を感じる。 地域の方と一緒にイベントを行う。

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>コロナ対策を行いなから、地域のイベントや行事に参加していく。 ゴミ拾いなど地域に向き地域住民の方と関わりを持つ。</p>	<p>・コロナ対策をとりながら施設内でのイベントは工夫されています。 ・事業所の庭での運動会など外の空気に触れる機会づくりをされています。 ・良いお天気の時や、季節を感じた時は近所のお宮さんにお参りに出かける事も有ります。地域に出かけて空き缶拾いに参加し、地域住民が住みやすい環境づくりに心掛けている。</p>	<p>・誰でも外に出たいのは“当たり前”の観点から、感染予防策をとりながら安全な場所への外出計画（ニーズによってドライブなど）実施を期待します。 ・桜の季節や、紅葉の季節には必ずドライブをして季節を感じられるように心がけて支援しています。 ・「さくら新聞」を拝見して、イベントの様子や外出の様子を見る事が出来ています。利用者さんの楽しい笑顔を見る事が出来て嬉しい気持ちになります。</p>	<p>民生委員や区長さんを通して地域で心配な方と関わりを持つ。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>定期的な運営推進会議については、書面決議を行うか直接顔を合わせた会議にするかはコロナ感染状況を踏まえて実施する。 地域の心配な方が居るときは関係者と情報を共有し問題解決に努めるようにする。</p>	<p>コロナ感染は依然として続き、更にインフルエンザの流行下で、対策として書面により「利用者の状況、ヒヤリ・ハット、アクシデント、コロナ対策」など詳細な報告を受けている。 後日、委員の意見と施設のコメントのまとめの報告を受けている。 (N02)と(N03)は、運営推進メンバーとして、今後の課題だと思います。</p>	<p>地域の高齢者で徘徊のある方については、区の協力体制等も含めて事業所も協働して取り組むことが出来る。 さくらカフェが再開しているが、協力できる地域の方にも声を掛け一緒に参加できる取り組みを行う必要が有る。</p>	<p>地域の心配な方が居るときは関係者と情報を共有し問題解決に努めるようにする。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>事業所の防災や災害対策については、地域住民と一緒に合同訓練が出来るように働きかける。</p>	<p>・防災計画は確認させて頂いていますが、何時起きるか解らない災害（火災・風水害・地震）に対し自助・共助を含めて確実に動ける体制づくりが必要だと思います。 ・高島市がモデル事業で取り組んでいる「誰一人取り残さない・取り残されない防災」に向け地域密着型事業所として取り組みが進むことを委員の一人として一緒に考えていきたいと思います。</p>	<p>「基準省令で指定通所介護事業者は訓練の実施にあたって、地域住民の参加が得られるよう連携に努めなければならない」と努力義務が提唱されています。 運営推進会議のメンバーに、家族代表・地域住民代表・行政等からなることから、今後、努力して取り組むことが必要だと感じています。</p>	<p>災害を想定して、地域の防災担当者・住民と事業所が共同で取り組むことが出来るように訓練の提案を行う。</p>